

あさひっ子だより

発行責任者 石澤 悟 発行日：令和3年2月18日



「感染」リスクの高い学習活動」徐々に再開！

県の緊急対策期間終了 感染症対策も「レベル1」に引き下げ！

2月12日に開催された福島県新型コロナウイルス感染症対策本部員会議において、令和3年2月14日で緊急対策期間を終了することが示されました。これを踏まえて、福島県教育委員会及び二本松市教育委員会は、学校の教育活動における対応のレベルも「レベル2」から「レベル1」へ移行することとしました。

令和3年2月15日～21日までの移行期間においては、停止していた「感染リスクの高い学習活動」を徐々に実施いたします。適切な感染症対策を行った上での教育活動に変わりはありませんが、第3学期後半の大事なまとめの時期に、いろいろな学習活動を再開できることは、子供たちにとっても教職員にとってもうれしいことです。

明日の授業参観は予定どおり実施します

対策レベルが引き下げになり、2月19日（金）に予定していた授業参観も予定どおり実施できることとなりました。前回同様、感染症対策を行いながら、保護者の皆様限定でのフリー参観となります。

ご都合のつく時間にご来校ください。（詳しくは、1/22 付けの「学年末授業参観のお知らせ」をご参照ください。）

当日は、今年度取り組んできた郷土学習について、旭の食（伝統野菜等）や遊びをテーマに発表します。名づけて「旭っ子マルシェ」です。模擬店もあります。授業参観として計画した枠ではありますが、内容的には、本来の学習発表会が目指す姿に近いと考えています。学芸会的な発表や調べたことについての発表ではなく、学んだことをもとに児童自ら考え・話し合い・発想したことを、自分たちのものとして作成・発表・提案・発信する活動です。9月に実施した「旭っ子フェスティバル」と同様に、新しい生活様式を取り入れた新しい形の学習発表会です。

また、「旭っ子マルシェ」の後には、伝統の「鼓笛移杖式」を実施します。こちらも、新しい生活様式に従って、飛沫対策を施した鼓笛隊演奏となります。次世代への引き継ぎの様子と子供たちの力強い演奏をご覧ください。

節分集会(豆まき)も新しい生活様式で！！

124年ぶりに立春が2月3日となったため、前日の2月2日が節分となった今年ですが、コロナ禍の影響で豆まきにも新しい生活様式が……。校内放送で全体会を行い、年男年女の5年生が節分の由来について話してくれました。その後、例年なら豆まきの大きな声が校舎中に響き渡るところですが……。今年は、放送室からのかけ声に合わせて、5年生が各教室を回って、声を出さずに豆をまく。こんな節分行事となりました。それでも、子供たちは自分の追い出したい鬼を心に思い浮かべながら、「鬼は外 福は内」と年の数だけ豆（落花生）を食べていました。きっと鬼は逃げていったことと思います。



2/19「旭っ子マルシェ」開催

詳しくは、当日配付のパンフレットと
子供たちの笑顔で・・・！！



2月13日の福島県沖の大地震で被災された保護者・地域の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。
お陰様で、旭小学校の子供たちは全員無事で元気に学校生活を送っております。